

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1・13	「やさしさ 思いやり 信念をもって 癒しの和を広げます」の理念の元、理念をより実践に反映させていく姿勢を持ち、自らの行動を示すことで職員への十分な浸透を図る(継続)。	理念は理想ではなく、各々の実践に反映される。どういう場面で理念に反映されるのか？その人にとってやさしさとはなにか？思いやりとはなにか？まだ職員が自身優先の思考回路になっていることが、まだ視られるため自身ではなく相手にとって何か？に思考回路を変換していく。	介護現場での実践を通して伝えていく(継続)。また、伝えるだけでは考え方の思考回路の変換が難しいため、研修会等を通して解かりやすい事例を提示したりや、気づきのGW等を行うことにより思考回路の変換を図る。	12ヶ月
2	17・26・27	家族アンケート項目3にあるご本人の介護計画をご家族にわかりやすく説明し、一緒に内容に関する話し合いをしていますか？の部分で、8人中 説明を受け一緒に話し合っているが5人、説明はうけたが話し合っていない2人、説明も話し合いもないが1名 おられた。課題としてはこちらが話し合っていると思っけても、相手が思っていないと話し合っていないことと同じである。	介護計画を通してより実践に反映するよう、限られた時間の中でも家族様のコミュニケーションをより一層深めていき皆様が満足できるようにしていく。色々な家族様もおられるが、本人様含め、どのように満足して頂くかを考え行動に移していく。	現在の新型コロナウイルスの関係上、密に関係を持つにしても、何度も家族と会ったりすることは怖いので、逆に今の時期だからこそその取り組みを今後も継続して行う。ツールとしては、お手紙、写真、ささゆり便りの充実、自社アンケート・フリーワードアンケートなど、できるならオンラインでの担当者会議等や報告を必ず行う。家族と話し合ったことや、報告等・電話内容などを記入した相談援助支援記録という書類を作成しているが、どのようなツールでおこなったか？時間はどのくらいか？など今後もっと詳しく記入し明確化していく。そして一年後に家族の満足度を確認することによりPDCAサイクルを図る	12ヶ月
3	60	家族アンケート項目7にあるご本人は、職員に支援されながら、戸外の行きたいところへ出かけていますか？よくでかけている1名 時々出かけている1名、ほとんど出かけていない1名 わからない4名であるため、明確化されていない。			
4	61	家族アンケート項目8にある事業所のサービスを受けていて、健康面や医療面、安全面について心配な点はないですか？全くない2名 あまりない5名 少しある1名 であり、どこに不安があるのか？を明確する必要がある。			
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。